



自治労全国一般 鹿児島地方労働組合

年末一時金闘争の日程

年末一時金の要求基準と闘争戦術日程については、第2回委員会で確認し各単組分会での取り組みを展開しています。短期集中でのたたかいであり、スト権の確立など早めの体制づくりを進め、同時に大衆討議・大衆闘争を基本に組合員が積極的に闘争に参加する取り組みを展開中。

各単組分会の要求状況

サンケイ化学労働組合は、10月28日付で年末一時金要求として組合員平均4.0ヶ月分(内1.8ヶ月分については夏季一時金として仮払い済み)、支給日12月10日の要求書を提出。三菱労働組合は、年末一時金要求として前年実績プラス二万円、支給日12月12日、付帯要求として契約社員の正規職員への登用の要求書を提出。22日に団体交渉を行い、前年度を若干上回る結果で妥結。

岩掃労働組合は、年末一時金要求2.0ヶ月、支給日12月13日の要求書を提出。11月28日に団体交渉を開催し、昨年同率の1.9ヶ月で妥結。

JA物流がごしま労働組合は、年末一時金要求2.5ヶ月、点数単価の見直し、支給日12月10日の要求書を提出。12月3日に団体交渉を開催し、大手荷主との契約解除による運収の減少、燃料費の増加など非常に厳しい会社の現状が報告され、年末一時金については昨年同率の2.0ヶ月の回答が提示され会社回答で妥結。

南日本ソーゴサービス分会は、11月12日に第3回職場委員会を開催し、年末一時金要求として3ヶ月以上を提出。12月4日に団体交渉を開催し昨年同

率1.9ヶ月で妥結。

市丸タクシー労組は年末一時金交渉を12月5日に開催しましたが12月11日に再度、団体交渉の予定。

また、年間一時金として妥結の単組分会については14春闘に向けた生活改善・労働条件改善要求の取り組みをお願いします。

各単組分会の定期大会開催される

全国一般第59回定期大会終了を受けて、各単組分会の定期大会が開催されました。

11月22日には石原産業分会第36回定期大会が開催されました。大会は出席・委任を含め66人の組合員が参加。また、鹿児島総支部西牟田書記長(県職員)、青木鹿児島県議会議員、中原鹿児島市議会議員(自治労組織内)、労働金庫より浅井次長(鹿児島支店)、全労済より岡専務執行役員が来賓として参加し、あいさつを頂きました。

大会は、13年度一般経過報告と総括、13年度決算報告が白ヶ澤書記長から提起され、質疑の後、全体の拍手で採択されました。引き続き14年度運動方針(案)・14年度財政方針(案)が執行部より提起され質疑終了、全体の拍手で承認されました。最後に役員改選が行われた。新執行体制については現行体制の継続となっています。

11月26日(火)18時より南日本総合サービス分会第34回定期大会がアーバンポートホテルで開催されました。大会は出席・地方委任を含め198人の組合員が参加しました。

また、青木鹿児島県議会議員、中原鹿児島市議会議員(自治労組織内)、労働金庫より片野田支店長

当面の日程	
○全国一般評議会	2014春闘討論集会
期日	12月14日
場所	東京(自治労会館)
2014年予定	
○県本部旗開き	
期日	1月10日
	18時～
場所	マリンパレス
	かごしま
○新春学習会・	
	新春旗開き
期日	1月11日
場所	アーバン
	ポートホテル

自治労全国一般
鹿児島地方
労働組合
連絡先
TEL 099-258-6211
メールアドレス
u-kagoshima
@theia.ocn.ne.jp

(鹿児島支店)、全労済より白元事業推進部長が参加され来賓として挨拶を頂きました。来賓挨拶の後、石原産業分会の白ヶ澤書記長より連帯の挨拶も受けました。

大会は、13年度一般経過報告と総括、13年度決算報告が執行部より提起され、質疑の後、全体の拍手で採択されました。引き続き、14年度運動方針(案)・14年度財政方針(案)が執行部より提起され質疑終了、全体の拍手で承認されました。

その他議題では2つの提起があり、一つ目は全国一般事務局が移転する関係で、南日本総合サービス分会の事務局も同時に移転することになることの確認がされ採択されました。

次に、年末一時金についてはこれまで大会前に昨年同率の回答が出されていたが、今回は会社の厳しい現状報告があり具体的な率での回答とはならないことへの報告がされ、新執行部に今後の交渉一任を全体の拍手で確認されました。

全国一般民間労組評議会結成

最後に役員改選が行われ、新執行体制三役については現行体制の継続が承認されました。

11月30日に鹿児島県本部では公共サービス民間評議会と全国一般鹿児島地方労組が組織的に合流するための結成総会を開催しました。総会では議長団



総会で挨拶する大浦新議長

児島県本部では公共サービス民間評議会と全国一般鹿児島地方労組が組織的に合流するための結成総会を開催しました。総会では議長団

から「鹿児島県本部の歴史に残る総会として各単組代表の代議員の皆さん方の建設的な意見がたくさん出ることを要望します。」という挨拶から始まり、準備委員会からこれまでの経過と新規約の説明が提起され、議案審議を受けて全員の拍手で議案が採択され、全日本自治団体労働組合鹿児島県本部・全国一般民間労働組合評議会(略称：民間労組評議会)が誕生しました。

引き続き総会が始まり来賓として榮留自治労鹿児島県本部執行委員長と亀崎自治労中央本部全国一般評議会事務局局長より挨拶を受けた。榮留委員長は挨拶の中で、本日の日を迎えるに当たり苦労されたであろう準備委員会の労をねぎらい、これから自治労県本部内において、公務員と公務職場で働く民間の力を結集して、様々な問題に対処していただきたいと思います。その後、14年運動方針(案)が新事務局局長より提起提案され、新役員発表もあり全員の拍手で採択されました。また、35単組の紹介があり、職場の状況や今後の活動についての単組報告も行われました。総会は、新議長の「団結カンパロウ」で終了しました。総会終了後は会場を移動して、鹿児島県本部の執行部を交えての懇親会が開催されました。

新議長 大浦 弘美(全国一般)

副議長 木下 悦治(阿久根市社協)

副議長 樋口 茂光(南日本総合サービス分会)

事務局次長 階元 仁(石原産業分会)

事務局次長 馬場 信也(薩摩川内市社協)

事務局次長 精野 雅文(南日本総合サービス分会)

事務局 移 転 し ま し た

全国一般の事務局は12月2日より次の住所に移転しました。メールアドレスは当面以前のままです。

住所 鹿児島市鴨池新町5の7の501
電話 099 258 6211(県本部内)
FAX 099 284 1303